



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 リンテック株式会社  
 コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小川 純一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	153,425	2.0	13,240	21.0	13,788	26.3	9,744	26.6
26年3月期第3四半期	150,451	4.2	10,942	29.0	10,915	25.7	7,699	21.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 12,140百万円 (△7.6%) 26年3月期第3四半期 13,141百万円 (92.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	135.09	134.91
26年3月期第3四半期	103.07	102.96

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	237,997	165,201	68.9
26年3月期	225,073	152,610	67.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 164,076百万円 26年3月期 151,530百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
27年3月期	—	22.00	—		
27年3月期(予想)				26.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206,000	1.4	17,000	23.5	17,500	32.9	11,500	35.3	159.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、【添付資料】4ページ「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	76,564,240 株	26年3月期	76,564,240 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	4,428,212 株	26年3月期	4,436,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	72,133,427 株	26年3月期3Q	74,694,155 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成26年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績や個人消費が堅調に推移しましたが、欧州では景気の不透明感が強まりました。また、中国を含む新興国では景気の減速感が鮮明になってまいりました。一方、我が国においては、企業業績は輸出企業などを中心に持ち直しの動きが見られるものの、消費増税や天候不順の影響もあり、個人消費は低調に推移しました。

このような経営環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は153,425百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は13,240百万円（同21.0%増）、経常利益は13,788百万円（同26.3%増）、四半期純利益は9,744百万円（同26.6%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### 【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は64,766百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2,518百万円（同32.0%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの状況は次のとおりです。

##### (印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品は国内では食品用を中心に消費増税後の需要の落ち込みの影響を受け、低調な推移となりました。海外においてはアセアン地域を中心に伸長しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (産業工材事業部門)

二輪を含む自動車用粘着製品はインドやアセアン地域を中心に堅調に推移し、また、ウインドーフイルムは中国市場において需要が回復しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

#### 【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は61,176百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は7,726百万円（同45.8%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの状況は次のとおりです。

##### (アドバンストマテリアルズ事業部門)

半導体関連粘着テープはスマートフォンやタブレット用の需要効果により大幅に伸長し、半導体関連装置についても大幅に伸長しました。また、積層セラミックコンデンサー製造用コートフィルムについてもスマートフォンやタブレット用の需要効果により好調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品はテレビの大型化やスマートフォン、タブレット用の需要効果はありましたが、売上構成の変化などの影響を受けました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ微減となりました。

#### 【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は27,483百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は2,961百万円（同21.4%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの状況は次のとおりです。

##### (洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙が前期並みで推移したほか、建材用紙や耐油紙などの需要が増加しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (加工材事業部門)

炭素繊維複合材料用工程紙が航空機用を中心に伸長しましたが、合成皮革用工程紙が主要市場である中国国内の市況低迷の影響を受け減少となりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は237,997百万円となり、前連結会計年度末に比べて12,924百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の増加	7,542百万円
・「受取手形及び売掛金」の増加	5,370百万円
・「たな卸資産」の増加	2,092百万円
・「投資その他の資産のその他」の減少	△2,145百万円

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は72,796百万円となり、前連結会計年度末に比べて333百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の増加	7,348百万円
・「退職給付に係る負債」の減少	△8,656百万円

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は165,201百万円となり、前連結会計年度末に比べて12,591百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	9,952百万円
・「為替換算調整勘定」の増加	2,175百万円

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想について、国内で消費増税後の個人消費低迷の影響を受けましたが、電子・光学関連がスマートフォンやタブレット用の需要効果などにより、引き続き好調に推移しています。現時点での為替水準なども勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月8日に公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

なお、通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当金につきましても修正を行っております。

平成27年3月期通期連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	210,000	16,000	15,500	10,500
今回修正予想(B)	206,000	17,000	17,500	11,500
増減額(B-A)	△4,000	1,000	2,000	1,000
増減率(%)	△1.9	6.3	12.9	9.5
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	203,242	13,766	13,165	8,501

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の見直しをおこない、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4,018百万円減少し、退職給付に係る資産が217百万円、利益剰余金が2,725百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,212	58,755
受取手形及び売掛金	63,488	68,858
たな卸資産	30,554	32,646
その他	4,231	4,327
貸倒引当金	△89	△99
流動資産合計	149,396	164,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,386	26,353
機械装置及び運搬具（純額）	21,829	19,419
土地	10,395	10,357
建設仮勘定	354	3,516
その他（純額）	1,490	1,565
有形固定資産合計	61,456	61,212
無形固定資産	2,794	2,506
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	366	820
その他	11,334	9,188
貸倒引当金	△275	△219
投資その他の資産合計	11,425	9,789
固定資産合計	75,676	73,508
資産合計	225,073	237,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,286	48,634
短期借入金	1,510	1,695
未払法人税等	2,594	1,920
役員賞与引当金	73	61
その他	9,355	11,611
流動負債合計	54,820	63,922
固定負債		
環境対策引当金	132	132
退職給付に係る負債	16,375	7,718
その他	1,133	1,022
固定負債合計	17,641	8,873
負債合計	72,462	72,796
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,830	26,830
利益剰余金	104,771	114,723
自己株式	△7,754	△7,740
株主資本合計	147,048	157,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	687
為替換算調整勘定	5,236	7,412
退職給付に係る調整累計額	△1,110	△1,038
その他の包括利益累計額合計	4,482	7,062
新株予約権	148	166
少数株主持分	930	958
純資産合計	152,610	165,201
負債純資産合計	225,073	237,997

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	150,451	153,425
売上原価	116,185	115,708
売上総利益	34,265	37,717
販売費及び一般管理費	23,323	24,477
営業利益	10,942	13,240
営業外収益		
受取利息	199	243
受取配当金	58	54
固定資産売却益	26	3
為替差益	597	898
その他	314	258
営業外収益合計	1,197	1,459
営業外費用		
支払利息	10	16
固定資産除却損	259	78
支払補償費	737	716
その他	217	99
営業外費用合計	1,224	910
経常利益	10,915	13,788
特別利益		
固定資産売却益	21	259
子会社清算益	—	69
補助金収入	18	—
特別利益合計	39	329
特別損失		
減損損失	155	—
固定資産売却損	23	—
特別損失合計	179	—
税金等調整前四半期純利益	10,776	14,117
法人税、住民税及び事業税	2,939	4,065
法人税等調整額	155	295
法人税等合計	3,094	4,361
少数株主損益調整前四半期純利益	7,681	9,756
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17	11
四半期純利益	7,699	9,744

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,681	9,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227	332
為替換算調整勘定	5,259	1,984
在外子会社年金債務調整額	△27	—
退職給付に係る調整額	—	68
その他の包括利益合計	5,459	2,384
四半期包括利益	13,141	12,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,096	12,113
少数株主に係る四半期包括利益	45	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,516	58,793	28,141	150,451	—	150,451
セグメント間の 内部売上高又は振替高	27	3	11,051	11,082	△11,082	—
計	63,544	58,797	39,193	161,534	△11,082	150,451
セグメント利益	1,908	5,298	3,769	10,977	△34	10,942

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,766	61,176	27,483	153,425	—	153,425
セグメント間の 内部売上高又は振替高	47	64	12,960	13,072	△13,072	—
計	64,813	61,240	40,443	166,498	△13,072	153,425
セグメント利益	2,518	7,726	2,961	13,207	32	13,240

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。